

# 広島県地域包括ケアシステムに係る県民の安心感に関するアンケート（調査）

改ページ

必須

Sc1	SA	あなたのお住まいは広島県内のどの地域ですか。
		1 広島市中区
		2 広島市東区
		3 広島市南区
		4 広島市西区
		5 広島市安佐南区
		6 広島市安佐北区
		7 広島市安芸区
		8 広島市佐伯区
		9 呉市
		10 竹原市
		11 三原市
		12 尾道市
		13 福山市
		14 府中市
		15 三次市
		16 庄原市
		17 大竹市
		18 東広島市
		19 廿日市市
		20 安芸高田市
		21 江田島市
		22 府中町
		23 海田町
		24 熊野町
		25 坂町
		26 安芸太田町
		27 北広島町
		28 大崎上島町
		29 世羅町
		30 神石高原町
		31 その他 ←選択した人はアンケート終了

改ページ

必須

Sc2	SA	あなたの性別をお答えください。
		1 男
		2 女
		3 答えたくない

改ページ

必須

Sc3	短文FA	あなたの年齢をお答えください。
-----	------	-----------------

改ページ

<b>必須</b>		
Q1	SA	あなたの現在のお住まいをお答えください。
		1 持ち家 2 借家（賃貸アパート、社宅等を含む） 3 高齢者を対象とした施設や住まい 4 その他[ FA ]
改ページ		
<b>必須</b>		
Q2	MA	同居しているご家族の構成をお答えください。
		1 一人暮らし 2 配偶者（65歳以上） 3 配偶者（64歳以下） 4 子ども 5 両親（配偶者の父母含む） 6 その他[ FA ]
改ページ		
<b>必須</b>		
Q3	マトリクス →	両親等の介護等の状況について、あてはまるものを選択してください。 ※同居していない方もご回答ください
		<b>【質問アイテム】</b>
SA	1	ご自身の父 <span style="float: right;">必須</span>
SA	2	ご自身の母 <span style="float: right;">必須</span>
SA	3	配偶者の父 <span style="float: right;">必須</span>
SA	4	配偶者の母 <span style="float: right;">必須</span>
		<b>【選択肢】</b>
		亡くなった
		要支援・要介護認定を受けていない
		要支援 1・2 の認定を受けている
		要介護 1・2 の認定を受けている
		要介護 3・4・5 の認定を受けている
		把握していない
		結婚していないので配偶者の両親はいない
		一人親のため該当者はいない
改ページ		
<b>任意</b>		
Q4	長文FA	両親等から相談を受けたことのある困り事や、助けを求められた内容を教えてください。
		[ FA ]
改ページ		
<b>必須</b>		
Q5	SA	あなたの介護等の状況をお答えください。
		1 要支援・要介護認定を受けていない 2 要支援 1 3 要支援 2 4 要介護 1 5 要介護 2 6 要介護 3 7 要介護 4 8 要介護 5 9 わからない
改ページ		

必須		
Q6	SA	あなたの職業をお答えください。※複数該当する場合は、主たる職業をお選びください。
		1 会社勤務（一般社員）
		2 会社勤務（管理職）
		3 会社経営（経営者・役員）
		4 公務員・教職員・非営利団体職員
		5 派遣社員・契約社員
		6 自営業（商工サービス）
		7 農林漁業
		8 専門職（弁護士・税理士等・医療関連）
		9 パート・アルバイト
		10 専業主婦・主夫
		11 学生
		12 有償ボランティア
		13 その他の職業[ FA ]
		14 無職
改ページ		
必須		
Q7	マトリクス	以下の項目について、該当する金額を選択してください。
		1 世帯収入をお答えください。 ※主たる生計者（世帯収入割合：50%以上）でない場合や、生計を分離会計している場合でも、概ねの世帯全体の収入をご回答ください。 ※年金や配当、不動産収入等を含みます。
		2 金融資産額（預貯金、株、貯蓄型生命保険など）をお答えください。
		<b>【選択肢】</b>
		1 100万円未満
		2 100～200万円未満
		3 200～300万円未満
		4 300～400万円未満
		5 400～500万円未満
		6 500～750万円未満
		7 750～1,000万円未満
		8 1,000万円以上
		9 答えられない
改ページ		
必須		
Q8	SA	あなたは、医療や介護が必要になっても、安心して暮らし続けられると感じていますか。
		1 十分感じている
		2 多少感じている
		3 あまり感じていない
		4 全く感じていない
		5 わからない
改ページ		

必須		
Q9	MA	医療や介護が必要になっても、安心して暮らし続けられると感じているかに対して、「わからない」を選択した方にお尋ねします。 わからない理由をお答えください。
		1 困った時、どこに相談したらいいかわからないから 2 どのようなサービスを受けられるのか知らないから 3 医療や介護が必要になったときのことを想像できないから 4 その他[ FA ]
改ページ		
必須		
Q10	マトリクス	医療や介護が必要になったとき安心して暮らせると感じるために、以下の項目について、あなたはどのくらい重要だと感じますか。
		<b>【質問アイテム】</b> 1 必要なときに相談できる窓口があること 2 身近な場所で、誰もが気軽に参加できる健康維持や予防活動の場が提供されていること 3 必要なときに適切な医療サービスにアクセスできる環境があること 4 必要に応じて、すぐに入所できる介護施設が近くにあること 5 生活環境を大きく変えずに、医療や介護の支援を受けられる仕組みがあること 6 困ったときに頼ることのできる家族や知人が身近にいること 7 家事や買い物を依頼できるサービスが身近にあること 8 住まいのバリアフリー（段差の解消や手すりの設置等）など安心して生活を送るための設備が整っていること 9 公共交通機関や移動支援サービスが整備され、運転ができなくても安心して移動できること  10 高齢者が孤立しないよう、地域で参加できる活動や場が整っていること  11 経済的に余裕があること 12 普段から、医療や介護が必要になったときのことを考えたり準備したりすること
		<b>【選択肢】</b> 1 とても重要 2 まあまあ重要 3 あまり重要ではない 4 重要ではない
改ページ		
必須		
Q11	SA	あなたは、生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか。
		1 十分感じている 2 多少感じている 3 あまり感じていない 4 全く感じていない 5 わからない
改ページ		

<b>必須</b>		
Q12	マトリクス	医療や介護に関して、あなた自身が感じている不安の度合いをお答えください。
		<b>【質問アイテム】</b>
		1 医療や介護について相談する場所がわからないという不安
		2 日常的に健康維持のための運動や予防活動に参加できる機会が少ないという不安
		3 近くに病院がないなどの医療に対する不安
		4 必要になったとき、すぐに介護施設へ入ることができるかどうかという不安
		5 在宅の介護サービスを受けられるかどうかという不安
		6 身体が動かしにくくなるなどしたときに、支えてくれる家族や知人が身近にいないという不安
		7 家事や買い物などの生活支援に対する不安
		8 住まいにバリアフリー設備が整っておらず、将来的に安全に暮らせなくなるのではないかと不安
		9 高齢になって運転ができなくなった場合に、買い物や通院などの移動が困難であるという不安
		10 ご近所づきあいや地域で参加できる場所がないという不安
		11 年齢を重ねるにつれて収入が減る一方で、医療費などの支出が増えることへの不安
		12 特に大きな理由はないが、ばく然とした不安
		<b>【選択肢】</b>
		1 感じたことがある
		2 なんとなく感じたことがある
		3 あまり感じたことはない
		4 感じたことはない
改ページ		
<b>必須</b>		
Q13	マトリクス	あなたが普段の生活で日常的な会話やコミュニケーションをとる方を次の中から選択してください。（いくつでも） またその中で最もコミュニケーションをとる人を1つ選択してください。 ※普段の生活でコミュニケーションをとる方がいない場合は、両方とも「特にいない」を選択してください。
		<b>【質問アイテム】</b>
MA		1 普段の生活でコミュニケーションをとる人（いくつでも） <b>必須</b>
SA		2 最もコミュニケーションをとる人（1つ） <b>必須</b>
		<b>【選択肢】</b>
		1 家族
		2 その他親族
		3 友人・知人
		4 パートナー
		5 職場の上司、同僚
		6 学校の先生
		7 近所の人
		8 インターネット上の知り合い・友人
		9 その他[ FA ]
		10 特にいない
改ページ		

必須		
Q14-1	MA	あなたが直近1年間で参加した趣味・サークルや地域活動等についてあてはまるものを選択してください。(いくつでも)
		1 趣味・サークル活動
		2 町内会・自治体の活動
		3 社会福祉協議会の活動
		4 民生委員・児童委員の活動
		5 老人クラブの活動
		6 女性会の活動
		7 こども会の活動
		8 PTA・学校行事に関する活動
		9 放課後の子どもの居場所づくり活動
		10 子育て相談
		11 登下校の見守り
		12 健康づくり・スポーツに関する活動
		13 高齢者等の見守りや手助けなどの福祉活動
		14 防災・防犯・交通安全に関する活動
		15 文化・芸術に関する活動
		16 祭り・盆踊り・運動会などのイベント
		17 公園などの美化・清掃活動
		18 環境保護に関する活動
		19 動物保護に関する活動
		20 その他[ FA ]
		21 参加していない
必須		
Q14-2		先ほど、直近1年間の参加についてお伺いしましたが、下記の①～⑧の活動についての参加頻度について選択してください
	①	<b>ボランティアのグループ</b> 週4回以上 週2～3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない
	②	<b>スポーツ関係のグループやクラブ</b> 週4回以上 週2～3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない
	③	<b>趣味関係のグループ</b> 週4回以上 週2～3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない
	④	<b>学習・教養サークル</b> 週4回以上 週2～3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない

どれか一つを選択する(以下  
②～⑧も同様)

	⑤	<b>介護予防のための通いの場</b> 週4回以上 週2～3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない
	⑥	<b>老人クラブ</b> 週4回以上 週2～3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない
	⑦	<b>町内会・自治会</b> 週4回以上 週2～3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない
	⑧	<b>収入のある仕事</b> 週4回以上 週2～3回 週1回 月1～3回 年に数回 参加していない

改ページ

<b>必須</b>		
Q15	MA	前問で1～20（直近1年で何らかの趣味・サークルや地域活動に参加した）を選択した方にお尋ねします。参加してよかったと思うこととしてあてはまるものを選択してください。（いくつでも）
		1 生活に充実感ができた 2 新しい友人・知人を得ることができた 3 相談相手があった 4 寂しさが解消できた 5 ストレス解消につながった 6 健康や体力に自信がついた 7 地域社会に貢献できた 8 お互いに助け合うことができた 9 自分の技術、経験を生かすことができた 10 社会への見方が広まった 11 自分の能力を伸ばすことができた 12 その他[ FA ] 13 特になし

改ページ

<b>必須</b>		
Q16	SA	困りごとや悩みに対して、相談できる地域の方同士の助け合いができていますか。
		1 できている 2 できていない

改ページ

必須		
Q17	SA	高齢者の相談窓口である地域包括支援センターについて、あてはまるものを選択してください。
		1 何をすところか理解している
		2 聞いたことがある
		3 知らない
改ページ		
必須		
Q18	MA	次の項目は「地域包括支援センター」について書かれたものです。 このうち、あなたが知っていることを全てお選びください。（いくつでも）
		1 県内の全市町に設置されており、自分の住んでいる地域など身近なところにある（県内122か所、概ね中学校区に1か所）
		2 保健師・看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどが配置されており、高齢者の医療・介護や暮らしに関する、さまざまな相談に無料で応える「高齢者の総合相談窓口」である
		3 要介護認定手続きのサポート、医療・介護サービスに関する情報提供などを行っている
		4 認知症に関する悩みや心配ごとに対して、近くの医療機関の紹介や、向き合い方のアドバイスをしている
		5 住み慣れた地域ですこやかに生活するため、健康づくりや介護予防（通いの場）の紹介を行っている
		6 支援や介護が必要な方のケアプラン作成をお手伝いしている
		7 高齢者虐待の早期発見や、悪質な訪問販売などの被害防止にも取り組んでいる
		8 高齢者本人や家族はもちろん、地域住民からの相談も受けている
		9 あてはまるものはない
改ページ		
必須		
Q19	SA	ACPについて、あてはまるものを選択してください。 ※ACP・・・アドバンス・ケア・プランニング（人生の最終段階における医療やケアについて患者本人や家族、医師などが事前に話し合い、共有する取り組みのこと）
		1 よく知っており、実践している
		2 よく知っているが、実践したことはない
		3 聞いたことはあるが、よく知らない
		4 知らない
アンケート終了		